

LED光源装置

Ethernet導入手順書

(XPort [Lantronix]使用機器)

ハヤシレピック株式会社

1. 概要

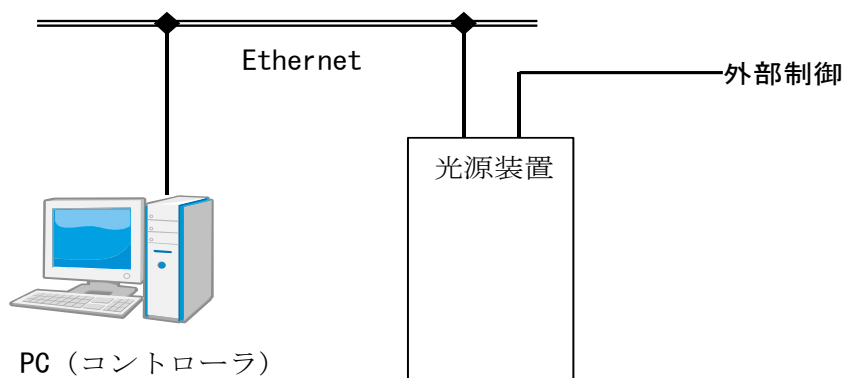
光源装置をEthernetで操作するためのPC側の初期設定について説明しています。

本措置のEthernetデバイスはLantronix社製XPortを使用しています。

通信を使用した操作方法は「取扱説明書」を参照してください。

本導入手順書の説明に使用したOSはWindows 10です。

2. 接続イメージ図



3. 接続コネクタ

RJ45 コネクタピンアサイン

Signal Name	DIR	Contact	Primary Function
TX+	Out	1	Differential Ethernet transmit data +
TX-	Out	2	Differential Ethernet transmit data -
RX+	In	3	Differential Ethernet receive data +
RX-	In	6	Differential Ethernet receive data -
Not used		4	Terminated
Not used		5	Terminated
Not used		7	Terminated
Not Used		8	Terminated
SHIELD			Chassis ground

表示機能

左LED

無点灯: HUBと不接続

緑点灯: 100BASE-T接続時、点灯し続ける

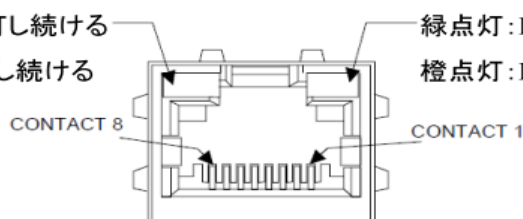
橙点灯: 10BASE-T接続時、点灯し続ける

右LED

無点灯: 無通信時

緑点灯: Full Duplex(全2重)通信時

橙点灯: Half Duplex(半2重)通信時



4. 準備するもの

- ・ デバイス設定プログラム

XPortデバイス設定プログラム 「DeviceInstaller」
ダウンロードサイト <https://www.lantronix.com/products/deviceinstaller>
(見つからない場合は、別途 [DeviceInstaller] で検索してください)

- ・ 仮想ポート割付プログラム

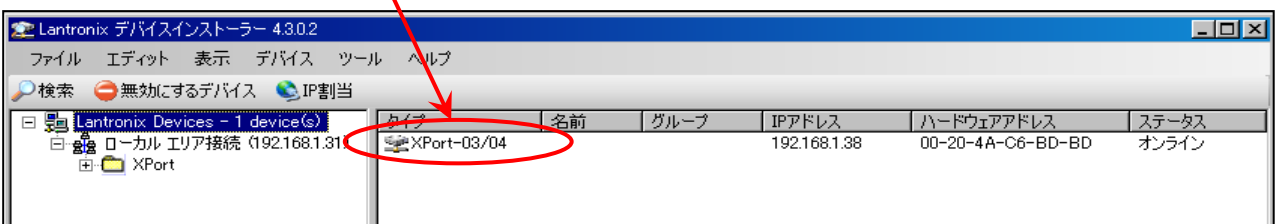
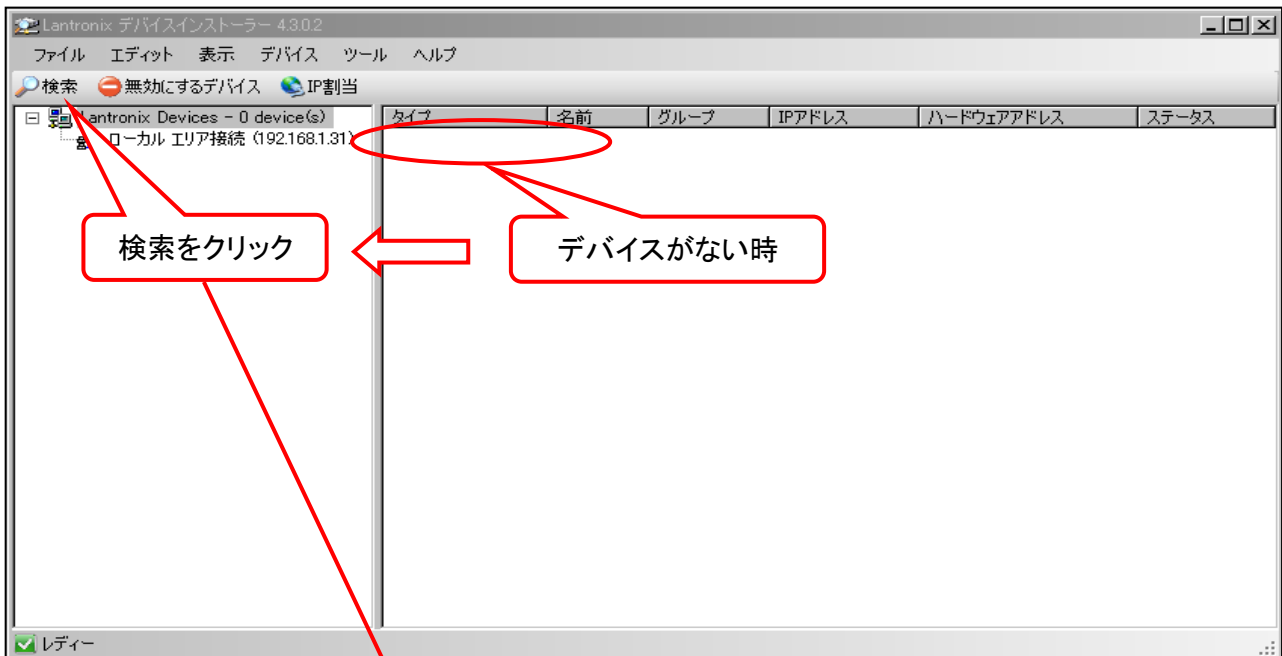
XPort仮想ポート割付プログラム 「ComPort Redirector」
ダウンロードサイト <https://www.lantronix.com/products/com-port-redirector>
(見つからない場合は、別途 [Com Port Redirector] で検索してください)

各プログラムをダウンロードしていただき、プログラムをインストールしてください。
詳しくはLantronixメーカーサイトをご確認ください。

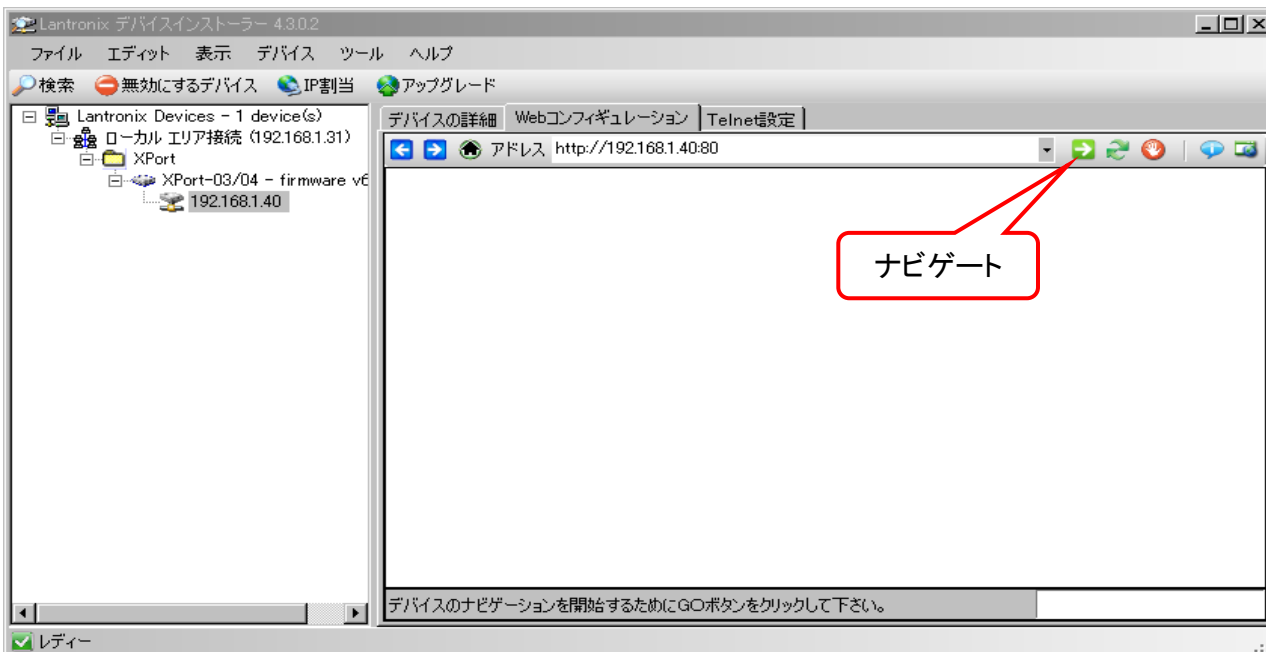
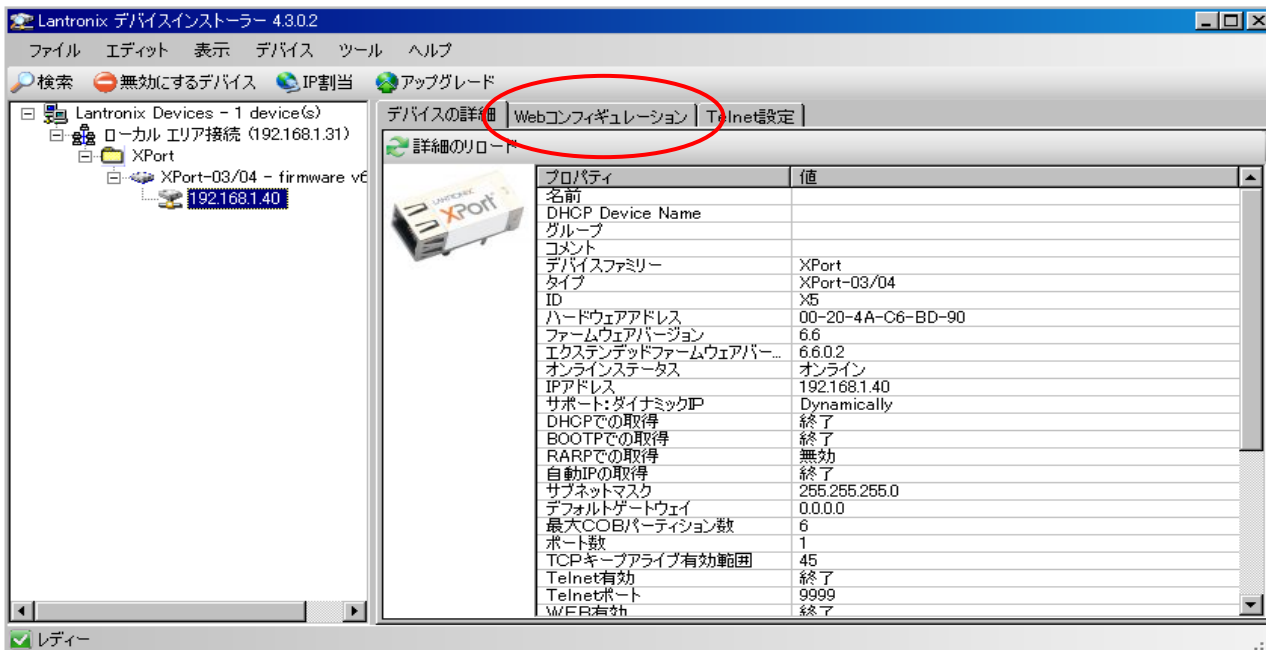
5. 導入手順

「XPortの設定」

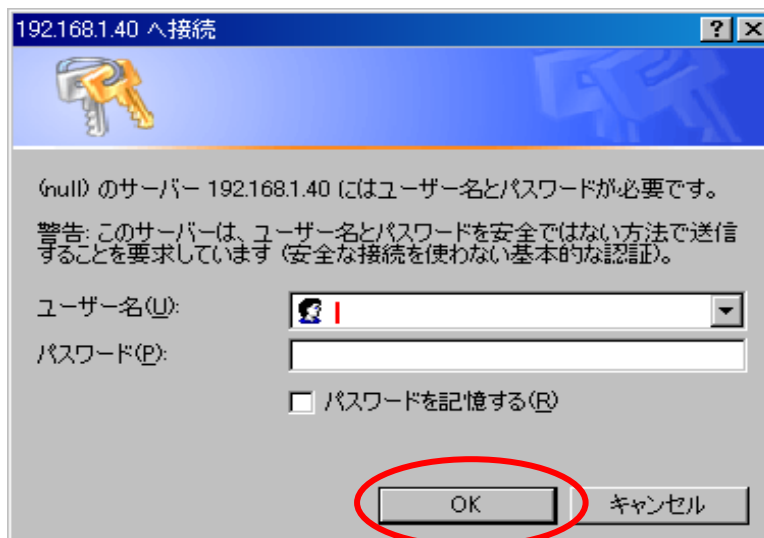
- DeviceInstallerを使用してXPortの初期設定を行います。
- 準備として、任意設定する(使用する)IPアドレスを用意してください。
- 任意設定しない場合は、自動で割り当てられます。
- 光源装置にLANケーブルを接続して電源を投入してください。
- DeviceInstallerを起動して、右側のタイプにデバイスがない場合は「検索」をクリックしてください。
- デバイスが表示されない場合は、光源装置のLANケーブル接続と電源ONを確認してください。
また、複数のネットワークアダプタが繋がっている場合は、「ツール」のオプションから選択してください。
- LANケーブルを接続した場合は「必ず電源を再起動」してください。
- 電源ON時にLANケーブルを接続するとデバイスが正しく認識できない場合があります。
- デバイスが認識されるとタイプに黒文字で[XPort-03/04]が表示されます。
- 赤い文字で表示した場合はデバイスがない場合と同様にLANケーブルと電源を確認してください。



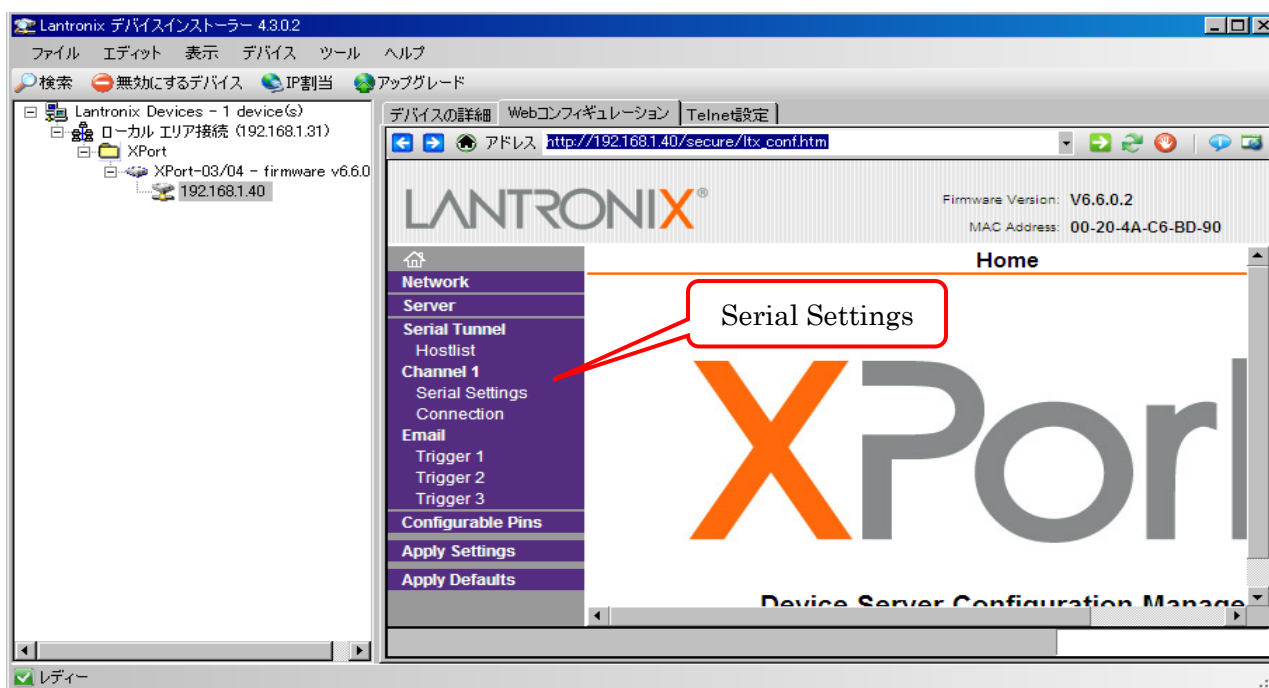
- ・ 認識されたデバイスをダブルクリックするとデバイスの設定情報が表示されます。
- ・ 「Webコンフィギュレーション」を選択してください。
- ・ ナビゲートをクリックしてください。



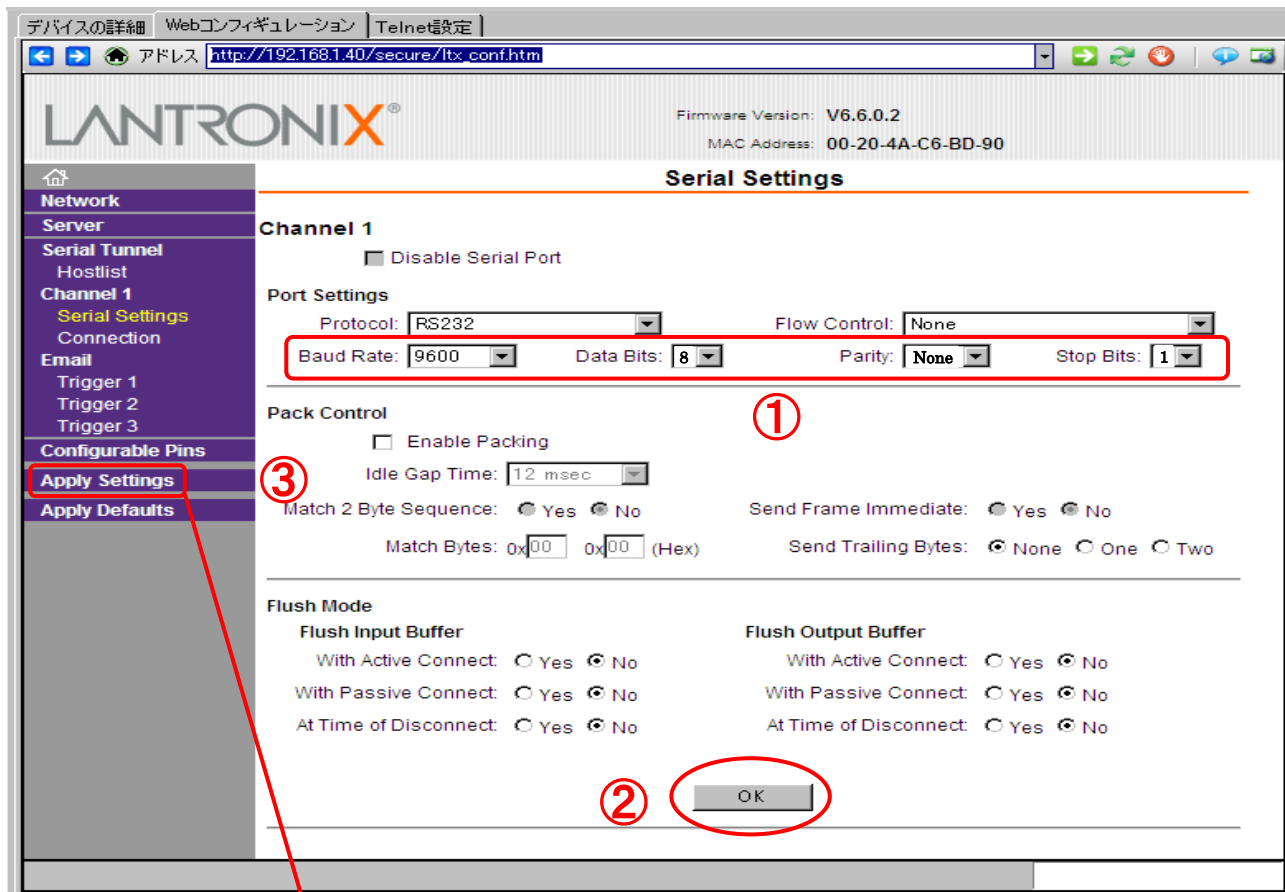
- ・ 警告が出ますので「OK」をクリックしてください。



- ・ XPortのHomeが表示されます。
- ・ 「Serial Settings」をクリックして通信の条件を設定します。

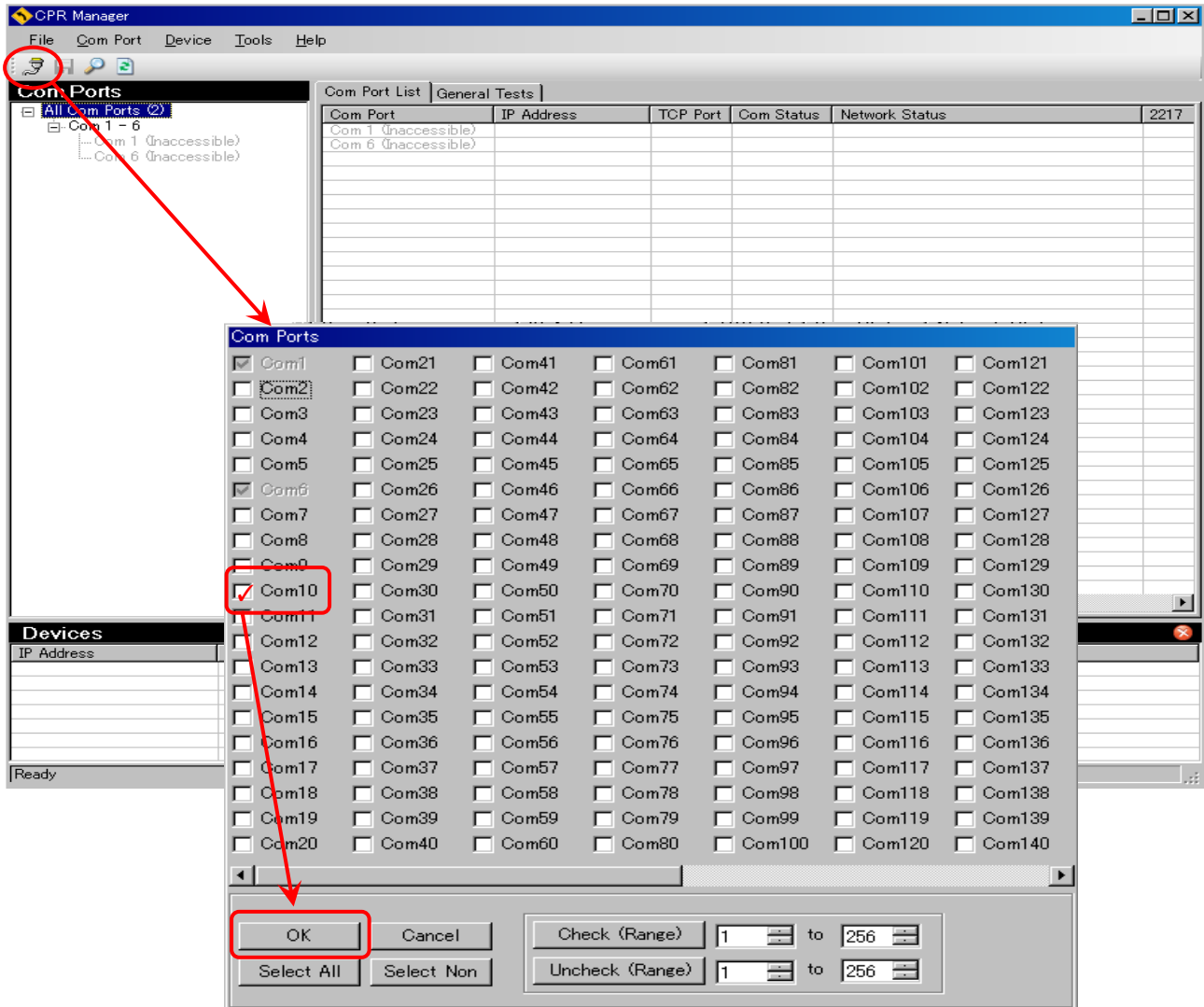


- ・ ①設定 Baud Rate:9600、Data Bits:8、Parity:None、Stop Bits:1
 - ・ ②[OK]をクリックしてください。
 - ・ ③[Apply Settings]をクリックするとXPort内でデータが更新されます。
 - ・ ④更新が終了するとトップページに戻ります。
- ・ 更新の状態を確認するには再度「Serial Settings」をクリックしてください。
 - ・ 以上でXport本体の設定は終了です。
 - ・ 次に「ComPort Redirector」を使用してPC側の仮想ポートを設定します。

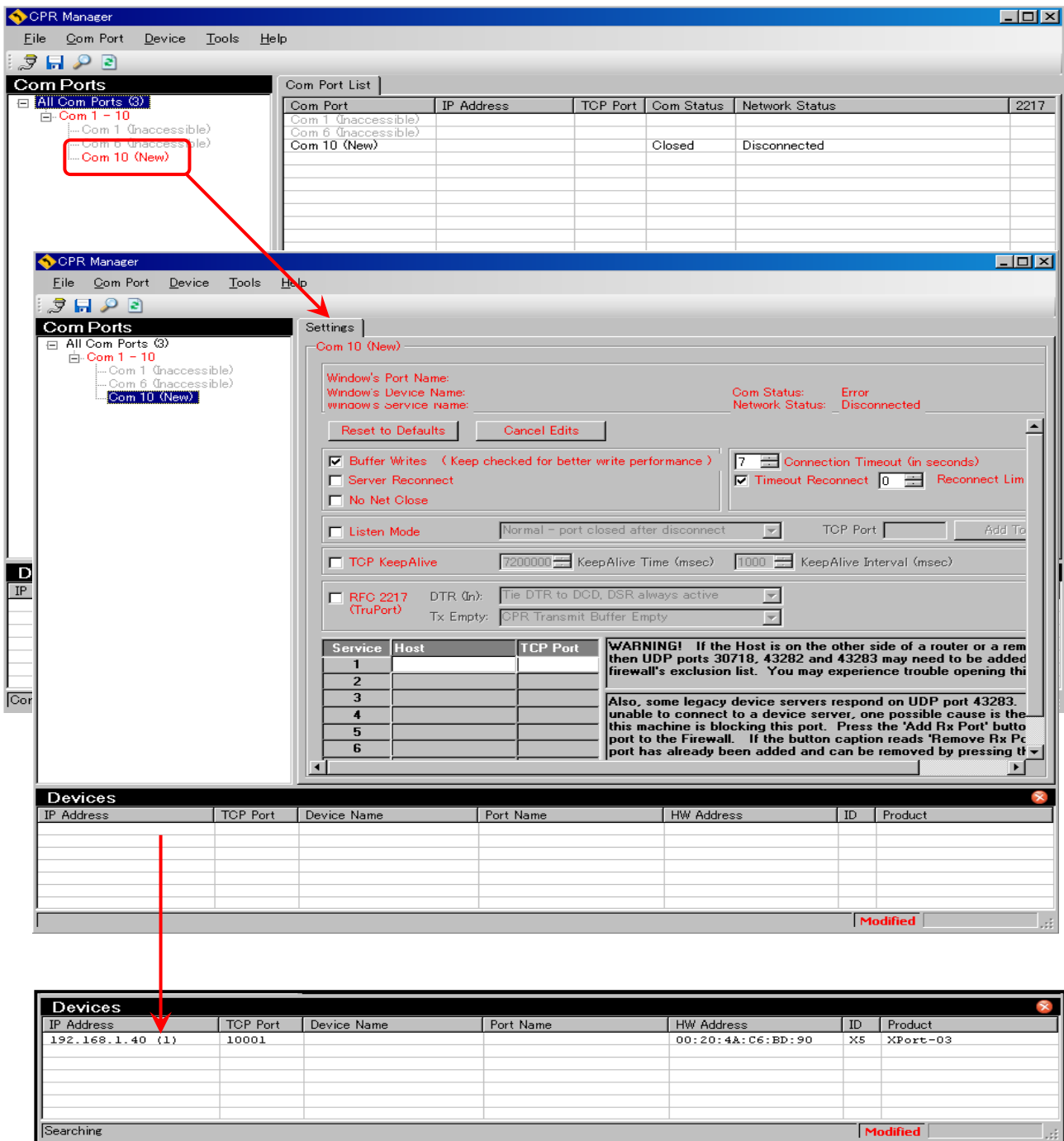


「PC側仮想ポートの設定」

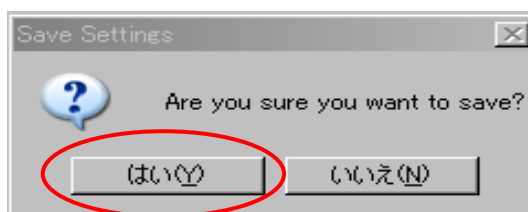
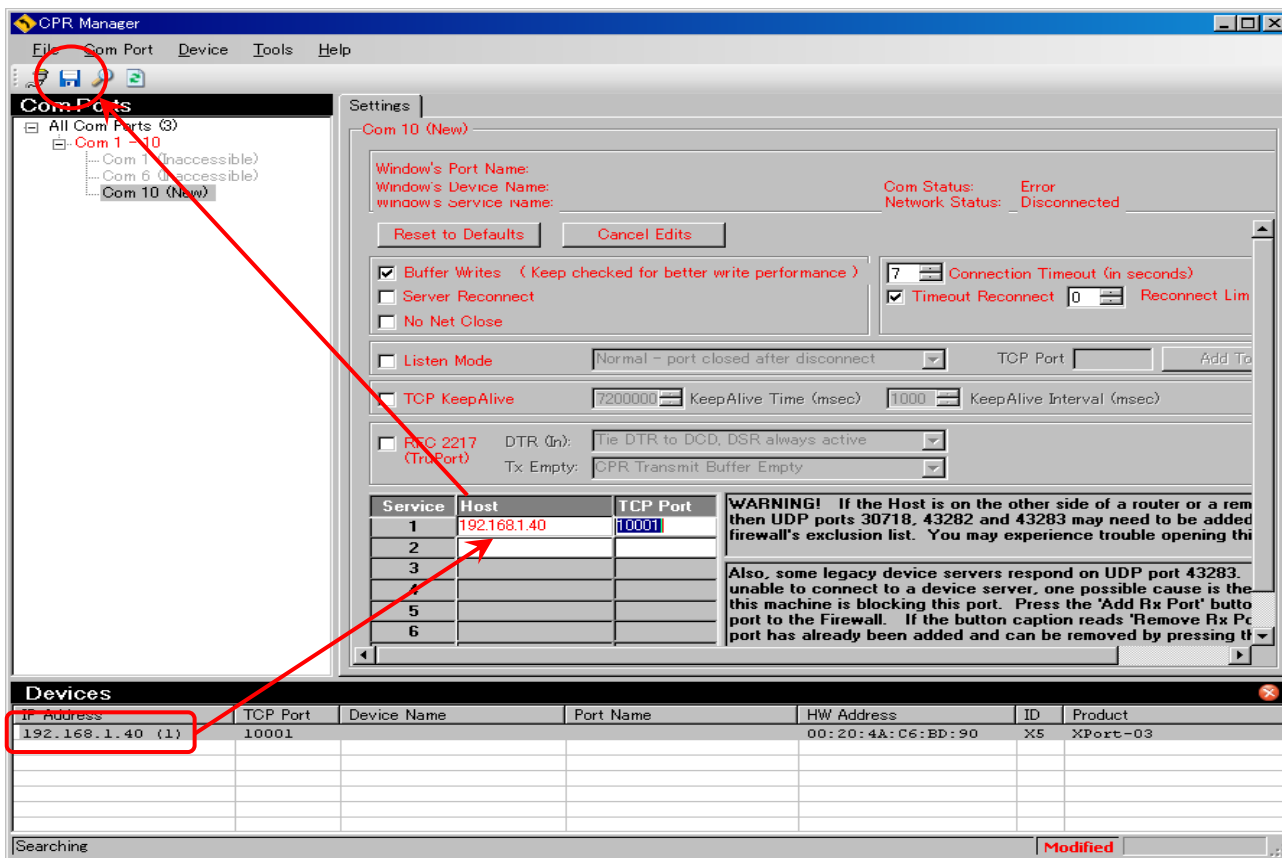
- ・「CRP Manager」を起動します。
- ・現在使用中の[ComPorts]が表示されます。
- ・「Add and Remove Com Ports」をクリックして、使用するポート番号を指定してください。
- ・本説明ではポート10を使用します。
- ・「Com10」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。



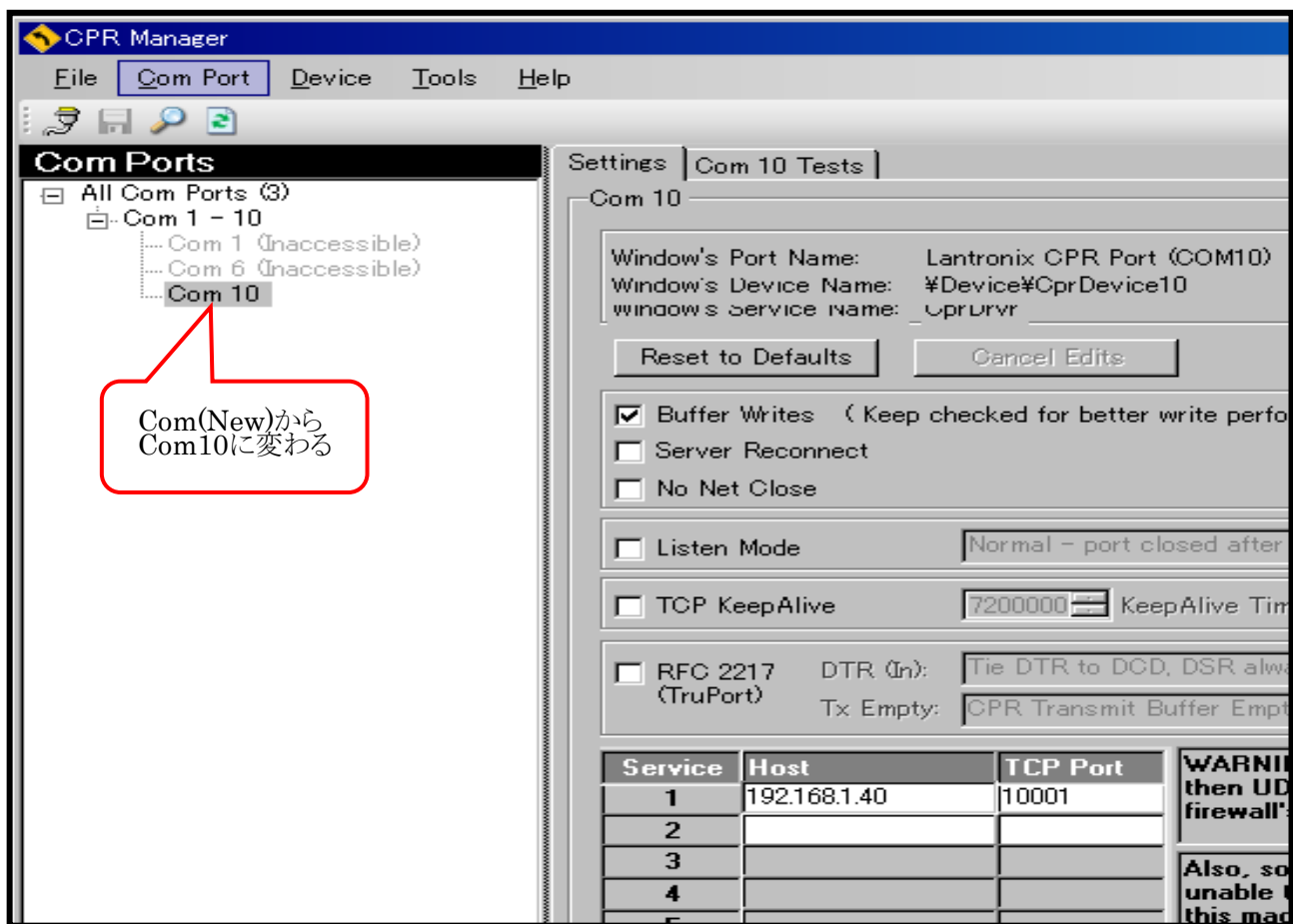
- ・メイン画面に「Com10」が追加されます。
- ・「Com10」をクリックすると、Setting画面に切り替わります。
- ・「Search For Devices」をクリックして、XPortデバイスを検索してください。
- ・Devices欄に検索されたXPortが表示されます。表示されない場合はLANケーブルが接続されているか、または、光源装置に電源が入っているか確認してください。



- ・表示されたDevices欄の「IP Address」を確認してアドレスをダブルクリックしてください。
- ・Setting内のHost項目に表示されます。
- ・最後に「Save Settings」をクリックして登録します。
- ・登録の確認が表示しますので「はい」をクリックしてください。



- ・登録が完了するとComPortsの「Com10(New)」が[Com10]に変わります。
- ・以上で仮想ポートの設定は終了です。



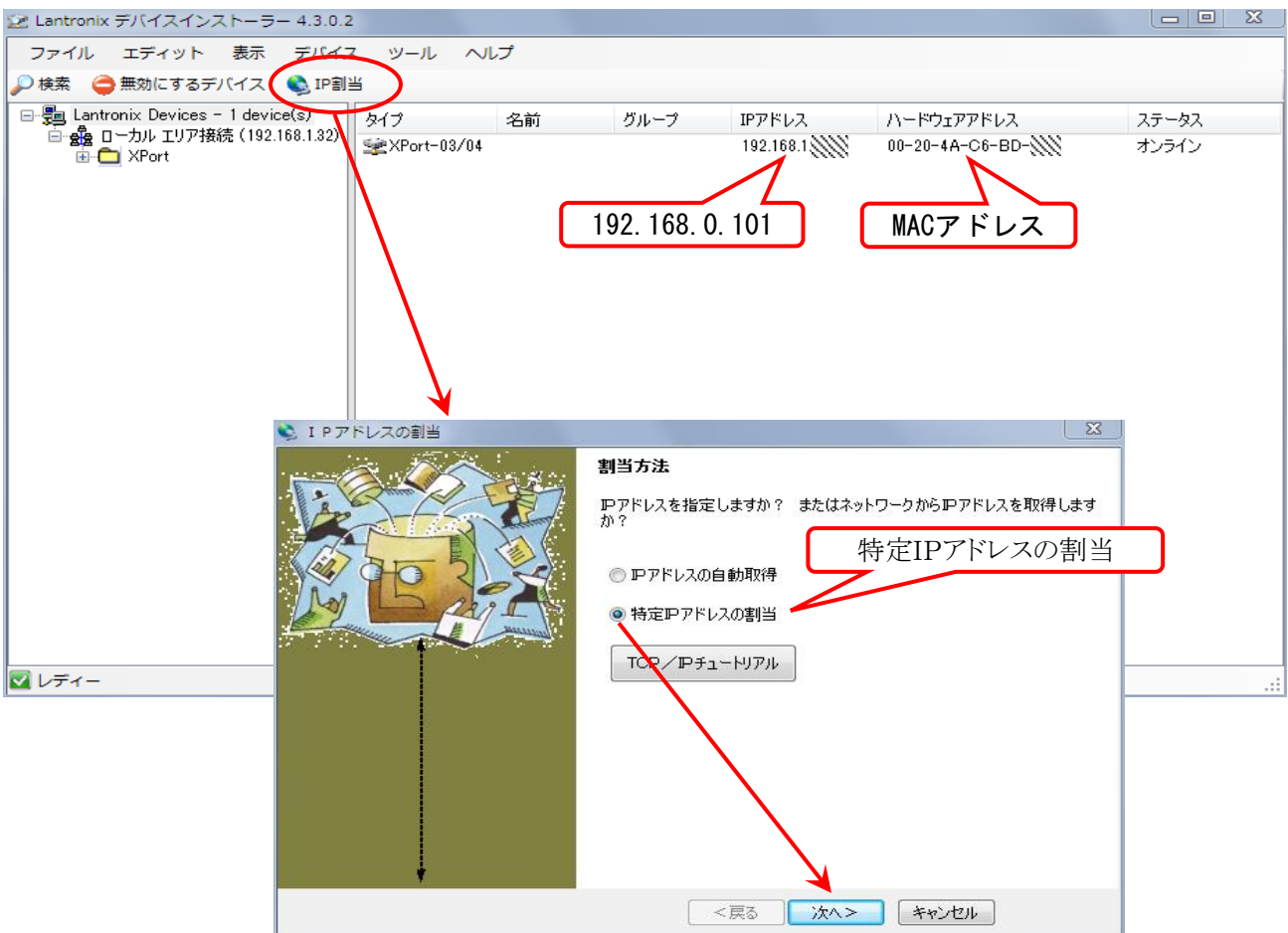
6. IPアドレスを変更

「検索後のIP割当」

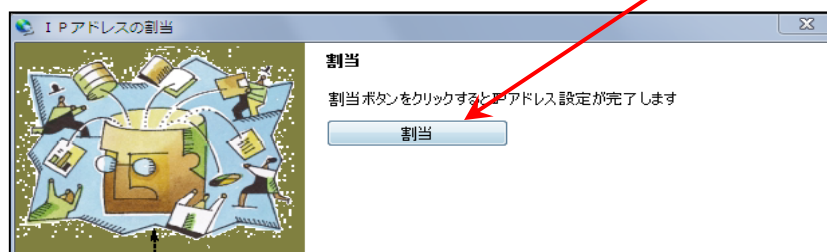
- ・ 必要に応じてIPアドレスを任意に変更してください。
- ・ 工場出荷時は下記の通りに設定しています。

項目	設定値	備考
IPアドレス	192.168. 0.101	工場出荷時
サブネットマスク	255.255.255. 0	工場出荷時
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0	工場出荷時

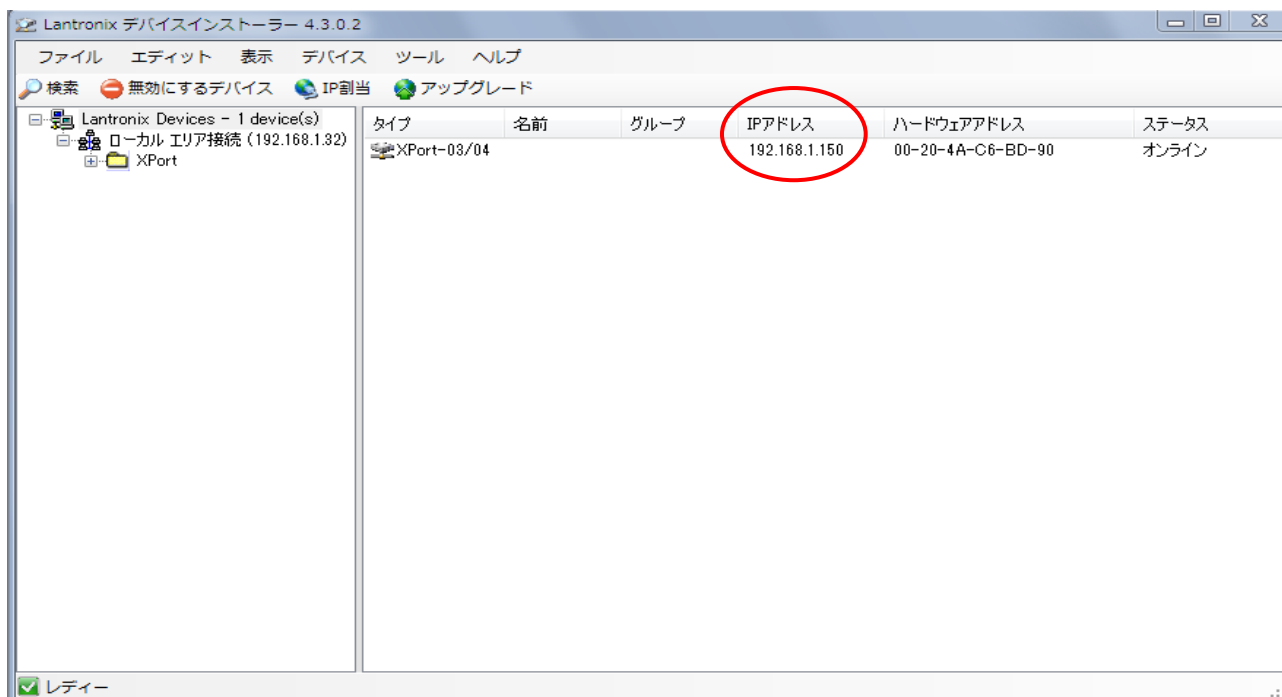
- ・ IPアドレスを変更する場合はDeviceInstallerを使用します。
- ・ DeviceInstallerが立ち上がったら「IP割当」をクリックして「割当方法」を選択します。
- ・ 「特定IPアドレスの割当」をチェックして「次へ」をクリックしてください。



- ・ IPアドレス欄に変更IPアドレスを入力して、「次へ」をクリックしてください。
- ・ 「割当ボタン」をクリックしてください。
- ・ 設定が完了しましたら、終了ボタンをクリックしてください。



- ・更新されると変更したIPアドレスが表示されます。



「検索前のIP割当」

- ・ IPアドレス割当時にデバイスIDの問い合わせがある場合はMACアドレスを指定してください。
(本体内部、XPortに記載しています)
- ・ デバイスID設定後は「検索後のIP割当」と手順は同様です。
- ・ IPアドレスが設定できない場合は「IP割当の注意」を参照してください。



「IP割当の注意」

- ・ IP割当時にサブネットマスクをPCに合わせる必要があります。
- ・ IPアドレスをPCと異なるサブネットを割り当てると変更が出来なくなります。
- ・ その場合DeviceInstallerで検索すると赤字で表示します。
- ・ 設定はPC側のサブネットマスクを合わせてください。



- ・ 数台を接続しながら、設定する場合は同じIPアドレスを設定しないでください。
また、同じIPアドレスの機器を接続しない様にしてください。
- ・ ネットワーク上に同一アドレスの機器があると検索をしても認識されません。